

平成29年度第8回経営戦略会議 会議結果の概要

開催日時	平成30年2月21日（水）午前9時30分～午前9時54分
開催場所	本庁 東庁舎4-2会議室
出席者	市長、副市長、総務部長、危機管理部長、情報戦略局長、環境生活部長、健康福祉部長、産業観光部長、都市整備部長、教育委員会事務局事務部長、上下水道部長、病院経営推進部長
審議事項	1 「伊勢市立小中学校適性規模化・適正配置基本計画」に係る検討課題について ＜教育委員会＞

1 「伊勢市立小中学校適性規模化・適正配置基本計画」に係る検討課題について

＜教育委員会＞

概 要

平成29年3月に策定した「伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画（修正版）」により検討を継続している早修・中島・佐八小学校の統合場所を早修小学校とすることについて審議を行なった。

主な内容は以下のとおりである。

(1) 統合校の方針について

伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画 修正版（以下「基本計画」という。）では次の方向性が示されている。

- ・早修・中島・佐八小学校・・・適正規模化を図るために3校を統合する。
統合場所については、検討を続ける。
- ・上野小学校・・・当分の間は単独校として存続する。複式学級の継続が見込まれる状況となった際には、早修・中島・佐八の統合小学校と統合する。

上野小学校については、現在複式学級が生じているが、31年度には解消され、その後しばらく複式学級は生じない見込みであるため、統合校については基本計画のとおり3校統合（早修・中島・佐八）の方針を進める。

(2) 3校統合（案）について

- ① 統合場所については、早修小学校（小規模改修）とする。

理 由

- ・統合場所を3校で比較した場合、災害想定、現有施設の建築年度、改修経費の点から判断すると早修小学校が最も望ましいと考えられるため。

- ② 統合年度については、3校を統合した際、12学級以下になる年度（H32年度）以降とする。

理由

- ・H33年度には佐八小学校で複式学級が生じ、教育委員会としては教育環境に多くの問題が生じると考えるため。
- ・保護者・地域住民の説明に要する時間や校名校章の選定、スクールバスの検討等様々な調整が必要なことから、統合まで数年かかることが予想されるため。
- ・時間の経過により少しずつ学級数が減少し、平成32年度以降に3校を統合しても12学級という状況になり、12学級以下なら早修小学校の現校舎を小規模改修するのみで統合が可能であるため。

結論 提案された内容について、地元住民の納得を得ながら進めることと決定した。

主な意見・補足等

- ・これは、市の防災及び公共施設の計画と合致するもので方向性に問題ないということではいか。
⇒現状特に問題なし
- ・早修小学校の12学級への対応はどのように考えているのか。
⇒パソコン室を普通教室に転用し利用することを検討している。
- ・将来的に少人数学級とされ12学級以上となった場合の対応はどのように考えているのか。
⇒学級数が増えることになっても現在の図書室横の部屋を活用すること等で対応可能と考えている。
- ・通学バスに関しての道路事情は問題ないか
⇒早修小学校近くにあるバス停の利用や、市図書館辺りの利用など、今後検討したい。
- ・現在、この辺りの中小規模の団地造成計画は出ていないか。
⇒今は特にない、情報が入りしだい対応したい。

資料 付議事項書